# 全国中学大会

第7日

全国中学校体育大会第7日は22日、福島県の須賀川アリーナなどで行われ、柔道女子の団体決勝は佐久長聖（長野）が川口西（埼玉）を2－0で破り、初優勝した。軟式野球の決勝は駿台学園（東京）が東海大静岡翔洋を3－0で下した。

高知県勢は、卓球団体は男子の明徳義塾、土佐女が準決勝でともに敗れて3位になった。男子シングルスの斎藤俊太朗（明徳）は、準々決勝に勝利。準決勝で敗北して3位だった。

23日の第8日は北海道帯広市でソフトボールが始まるなど3競技が行われる。

# 明徳男子・土佐女3位
# 男子単 斎藤（明徳）3位

## 卓球

（苫小牧市総合体育館）

▽男子団体準決勝

| | | |
|---|---|---|
| 中間東（福岡） | 3－2 | 明徳義塾 |
| 面田 | 2－3 | 斎藤 |
| 浅見 | 3－2 | 内山 |
| 吉田 | 3－2 | 西川 |
| 玉城 | 3－2 | 長谷川 |
| 大貫 | 2－3 | 立藤 |
| 森 | 3－0 | 滋野 |
| 野田学園（山口） | 3－0 | 浜松修学舎（静岡） |

▽同決勝

野田学園 3－0 中間東（野田学園は初優勝）

▽同シングルス準々決勝

斎藤俊太朗（明徳義塾）3（11－8、11－9、14－12）0 持田陽向（愛知・愛工大名電）

▽同準決勝

松島輝空（神奈川・星槎）3（12－10、11－9、11－8）0 斎藤俊太朗

▽同決勝

松島 3（11－8、12－14、11－5、11－6）1 渡部（神奈川・星槎）

▽女子団体準決勝

| | | |
|---|---|---|
| 四天王寺（大阪） | 3－2 | 山陽学園（岡山） |
| 貝塚二（大阪） | 3－0 | 土佐女 |
| 倉嶋 | 3－2 | 石川実 |
| 竹谷 | 3－0 | 松本 |
| 深山 | 3－0 | 石川愛 |
| 三島 | 3－0 | 八木 |

▽同決勝

四天王寺 3－0 貝塚二（四天王寺は3年ぶり7度目の優勝）

▽同シングルス決勝

面手（岡山・山陽学園）3（11－6、11－2、8－11、6－11、11－8）2 青木（大阪・四天王寺）

＝競技終了

卓球の男子団体で3年ぶりの3位に輝いた明徳の選手たち。斎藤俊太朗＝後列右から4人目＝は個人シングルスも3位に入った（写真はいずれも北海道苫小牧市総合体育館）

## 明徳男子 全員卓球で成長示す

14年ぶりの決勝まで、あと一歩だった。男子団体の明徳は準決勝で、中間東と最後の第4単までもつれる大熱戦。選手たちは「『あと一本』の大切さも学んだ3位でした」と、静かに喜びをかみしめた。

1、2年生6人を含む10人のチームが、相手を焦らせた。4試合がフルゲームで、主将斎藤、立藤が2枚エース対決の単2戦を制した。複の1年生ペア、西川・長谷川も2ゲームを連取。強豪校にひっくり返されはしたが、佐藤建剛監督は「来年の地元全中につながる成長だ」と評価する。

個人戦に挑んだ斎藤は「全員卓球でつかんだ3位が『自分たちもやれる』と勇気をくれた」。準々決勝で昨年の全日本カデット3位の持田（愛工大名電）を圧倒し、この大会で連覇を果たした松島（星槎）との準決勝でも、フォア、バックから自在に仕掛ける持ち味を貫いた。スコアこそストレート負けでの3位だが、3ゲームとも、世界ユース選手権でも活躍する世代トップ選手と互角に戦った。

「大事な場面で守りに入った自分たちとは違い、相手には攻めきる強さがあった」。選手たちの晴れ晴れとした表情の中には、ちょっぴり悔しさものぞく。目指すは地元全中での日本一。高校のステージに挑む斎藤は「気持ちで負けないチームになってほしい」と、後輩に夢を託した。（横田宰成）

高知新聞 8月23日